

(報道発表資料)



2025年6月5日

新潟県立大学

東日本電信電話株式会社 新潟支店

新潟県立大学とNTT東日本新潟支店 データサイエンス分野における包括連携協定を締結 ～協定締結を記念して記念シンポジウムを開催～

新潟県立大学(学長 若杉 隆平)と東日本電信電話株式会社新潟支店(支店長 石井 宏明 以下「NTT東日本」)は、新潟の産業、行政、教育におけるデータの利活用を促進し、地域のデジタルトランスフォーメーション(DX)やイノベーションの基盤強化を図ることを目的として、6月24日(火)にデータサイエンス分野における包括連携協定を締結いたします。また、協定式終了後に記念シンポジウムを開催いたします。

1. 協定締結の背景

データサイエンスはビッグデータや人工知能(AI)を活用し、社会課題の解決やイノベーションの創出に向けた有益な情報を見出す学問であり、社会、経済、健康、環境、防災などの幅広い分野での活用が急速に進んでおります。

一方で、データを適切に活用し、企業課題の解決や意思決定に結びつける力を持った「データサイエンス人材」の不足は深刻であり、諸外国と比較しても育成の遅れが指摘されています。こうした人材の不足は、企業の国際競争力の低下や地域経済の停滞にもつながるおそれがあります。

このような状況の中、新潟県立大学では、新潟県からデータサイエンス分野で活躍できる人材を輩出するため、2025年4月より国際経済学部にて「データサイエンス経済コース(以下DSEコース)」を新設しました。本コースは、PBL(Project-Based Learning, 課題解決型学習)を重視し、産学官連携を通じて、データと経済学を用いて現実の社会課題に取り組む実践的な人材の育成を目指しています。NTT東日本は、ソーシャルイノベーション企業として、これまで蓄積してきたビッグデータに関する知見と地域における課題解決や価値創造の取り組みで、新潟県立大学のカリキュラムをサポートし、新潟県内における地域のさまざまな課題解決や企業の価値創造に貢献できる実践的なデータサイエンス人材の育成に共に取り組んでまいります。

2. 本協定に基づく連携事項

- ・データサイエンス教育における事項
- ・地域におけるデータ利活用の研究に関する事項
- ・地域におけるデータサイエンスの普及、啓発に関する事項
- ・その他両者の協議により必要と認める事項

3. 当面の具体的な取組み

- ・データサイエンス経済コースの専門科目講師としてNTT東日本社員の派遣
- ・地域におけるデータ利活用に関する共同研究会の設置

4. 協定締結式

日時 2025年6月24日（火） 11:00～11:30
場所 新潟県立大学 コモンズ3号館4階5402会議室
(新潟市東区海老ヶ瀬471番地)
参加者 新潟県立大学 学長 若杉 隆平
新潟県立大学 国際経済学部長 教授 坂口 淳
新潟県立大学 国際経済学部国際経済学科長 教授 佐藤 仁志
NTT東日本 新潟支店長 石井 宏明
NTT東日本 新潟支店 企画総務部長 本間 雅史
NTT東日本 新潟支店 設備部長 立島 宰

5. 記念シンポジウム

日時 2025年6月24日（火） 13:00～14:30
場所 新潟県立大学 コモンズ3号館1階5105講義室
プログラム 講演1 佐々木 健志 新潟県立大学国際経済学部教授
「データサイエンスで何ができる？-探求が生み出すデータの新たな価値」
講演2 津曲 貴裕 NTT-ME サービスクリエイション部担当課長
「ビジネス・行政におけるデータ利活用の先端」
パネルディスカッション
「新潟におけるデータサイエンスの展望-AI時代のデータサイエンス人材」

6. 本件に関するお問い合わせ先

新潟県立大学 企画広報課 担当：樋山 TEL: 025-368-8224
NTT東日本新潟支店 企画総務部企画担当
niigata-kouhou-ml@east.ntt.co.jp